

資料1「金沢市男女共同参画推進行動計画」概要について

委員

3ページの成果指標にある「社会全体において男女の地位が平等であると感じる人の割合」について、平成24年から令和3年にかけて低下している。上がるどころか下がっている理由をどのように考えているのか。

事務局

現時点では明確な理由は把握していない。国の第6次男女共同参画基本計画においても、性別役割分担意識が依然として課題とされている。今年度、市民意識調査を実施し、前回調査との比較を行ったうえで、来年度の中間見直しの際に分析していきたい。

資料2・3 令和7年度実績及び令和8年度取組

＜令和7年度実績＞

基本目標1「あらゆる分野における女性の参画の拡大」

◆方針1 方針の立案・決定過程への女性の参画の拡大

委員

文化芸術を奨励する金沢で、ジェンダー平等が達成されないのは、数多く存在する文化芸術系の団体において、数多くの女性が活躍しているにもかかわらず、その運営役員のほとんどが男性だからではないか。市やアーツカウンシル金沢による助成金や支援プログラムの利用に際し、役員・意思決定層への女性登用や男女比データの公的見える化を条件にすることはできないか。

事務局

文化芸術に携わる方々は、個人をはじめ団体においても小規模なものも多く、助成金の交付要件等に男女比を義務付けすることが、公平性の観点からも課題が多いと考えている。

委員

文化芸術団体に対する助成等において、役員・意思決定層への女性登用や男女比の見える化を条件とすることは難しいとの説明であった。ただ、企業に対しては育児休業取得等の取組を支援する制度もあり、文化芸術団体についても、助成金の申請時に男女共同参画に関する事項を記載してもらうことは可能ではないか。申請書にどのような項目があるのかを踏まえ、検討してほしい。

事務局

文化芸術に携わる団体には大規模な団体から小規模な団体まで多様な形態がある。現時

点では助成金申請書類の詳細までは把握していないが、いただいた意見は担当課に伝え、今後検討できることがあれば進めていきたい。

委員

町会長、公民館長、PTA 会長など地域の役員等に占める女性の割合が成果指標として示されているが、資料 3 の事業を見ると、町会長に関する具体的な施策が分かりにくい。町会長の女性割合を高めるための取組はあるのか。

事務局

資料 3 に記載している地域団体への啓発は、生涯学習課による公民館、婦人会、PTA 等への運営費支援などである。女性割合を高めることは市全体として取り組む課題と認識しているが、町会長の選任は各地域の事情もあり、市の方針に沿って一律に進めることは難しい面がある。関係機関と情報共有し、機会を捉えて働きかけていきたい。

また、資料 3 の 3 ページの施策番号 5 の女性リーダーの育成として、地域型男女共同参画人材育成講座を実施している。令和 7 年度は町会活動に関わる方を対象に、町会・公民館のまちづくりにおける女性リーダー育成に関する講座を開催した。こうした取組を通じ、町会活動等への女性参画を促進していきたい。

委員

公民館や婦人会の自主的活動支援は生涯学習課が担当しているが、町会についても自主的な活動があり、直接的な支援があればよいのではないかと。地域型男女共同参画人材育成講座も重要であるが、町会への直接的な支援についても、中間見直しの中で検討してほしい。

◆方針 3 仕事と生活の調和（ワークライフバランス）等の実現

委員

市の男性職員の育児休業取得率について、計画策定時と比べると大きく増加しているが、令和 6 年度から令和 7 年度にかけては低下している。制度や取組に変化があったのか、また、取得率が下がった理由について見解を伺いたい。

事務局

制度としては、令和 6 年度、令和 7 年度で変更はない。年度により育児休業の取得対象となる職員が異なるため、数値に差が出ているものと認識している。

◆方針4 地域社会における男女共同参画の推進

※ 男女共同参画支援セミナーの開催回数・受講者数についての質問は、「資料4 金沢市女性センター事業」の項目で回答

基本目標2「安全・安心な暮らしの実現」

◆方針6 誰もが安心して暮らせるまちづくり

委員

6 ページの男性のための電話相談事業について、主な相談内容はどのようなものか。また、相談件数は想定より多いのか少ないのか。少ない場合はどのような要因が考えられるか。

事務局

個人情報に該当する可能性があるため詳細は差し控えるが、仕事や人間関係をはじめ、パートナー、子ども、親子関係に関する相談が寄せられている。令和6年7月に開設した事業であり、令和7年度の相談件数は27件であった。全国的にも男性専用の相談窓口は少なく、本市では平均すると1か月に2件程度の相談があり、一定のニーズがあると考えている。相談に至っていないケースも想定されるため、市公式 SNS 等を活用し、今後も周知に努めたい。

資料4 金沢市女性センター事業

委員

男女共同参画支援セミナーの開催回数・受講者数について、受講者数がかなり増加しているが、どのような理由からか。

事務局

配信講座の増加が大きな要因である。令和6年度は配信講座が1講座であったが、令和7年度は配信のみの講座2講座4回に加え、現地開催講座のアーカイブ配信2講座を実施した。家庭の都合等で現地参加が難しい方も、時間や場所を問わず受講できること、定員がないことから、多くの方に受講いただいた。今年度も引き続き配信講座を充実させたい。

資料7「金沢市男女共同参画推進行動計画」の中間見直しについて

委員

男女の地位が平等であるかどうかについては、男性と女性で認識が異なることがある。家庭内の役割分担についても、家族の中で誰が回答するかによって結果が変わる可能性があるため、調査結果の解釈には注意が必要ではないか。

事務局

市民意識調査は世帯単位ではなく、無作為抽出した個人に対して調査票を送付する。回答者本人の認識を把握する調査として実施する予定である。

委員

市民意識調査及び事業所アンケートにおいて、アンコンシャス・バイアスを把握する設問を追加するとのことだが、どのような質問にする予定か。

事務局

市民意識調査では、「組織のリーダーは男性の方が向いている」「育児中の女性は重要な仕事を担当すべきでない」等の具体例を示し、それについてどう思うかを選択形式で回答してもらうことを想定している。

事業所アンケートでは、「男性に比べて女性の昇進が遅い」「大きな商談等には男性を充てている」等の具体例を示し、事業所における実態を選択形式で回答してもらうことを想定している。

委員

男性の育児・介護休業取得が進まない理由を問う設問について、育児休業と介護休業は分けた方がよいと思う。育児休業だけでもよいのではないか。

事務局

この設問は、誰もが働きやすい環境づくりという観点から、男性の育児休業・介護休業の制度利用が進まない理由を問い、制度の周知や利用しやすさ、体制などを把握するものである。前回調査との比較もあるため、育児休業と介護休業を分けずに把握したいと考えている。

委員

ハラスメント防止の取組状況について、カスタマーハラスメントや就活セクハラについても質問に入れてほしい。また、ハラスメントごとに取組状況を聞いた方がよいのではないかな。

事務局

カスタマーハラスメントや就活セクハラ対策が義務化されることは承知している。本アンケートでは、誰もが働きやすい環境づくりという観点から、ハラスメント全般について防止の取組を行っているかどうかを問う設問としたい。ハラスメントごとの取組状況を確認することも望ましいが、設問数が増えることで回答率が下がることも想定されるため、前回調査と同様としたい。なお、ハラスメントにはカスタマーハラスメントや就活セクハラも含むことを注釈で示すなど工夫したい。

委員

事業所アンケートの新規の「社内外に向けた情報発信」と「女性活躍等に関する計画策定・認定取得」について、質問の意図について確認したい。

事務局

事業所が制度を整えるだけでなく実際に運用しているか、男女共同参画等の取組状況の実態について把握し、今後の施策につなげたい。

委員

情報公表や計画策定は、一定規模以上の事業所では義務になっているものもあり、また認定については公表されている情報で把握できるものもあるため、単に取得状況を聞くだけでは施策に生かしにくいのではないかな。

事務局

制度を整えるだけでなく、事業所として制度を当たり前に活用できる体制を整えることが必要と考えているため、取組状況の実態を把握し、アンケート結果を分析していく必要があると考えている。

委員

事業所アンケートは経営者や人事担当者が回答するとのことだが、実際に育児休業等を取得する従業員の認識とは異なる場合がある。制度があっても職場の雰囲気により取りにくい場合があるため、従業員目線の取得しやすさや職場風土についても把握できるとよい。また、育児休業と介護休業は背景が異なり、同じ設問で扱うことには違和感がある。

事務局

事業所アンケートでは、事業所としての状況や実態を把握するため、経営者または経営企画・人事部門等の担当者に回答を依頼する予定である。育児休業や介護休業を取得した従業員の人数を性別、取得期間別に把握する項目を設ける予定で、取得期間の実態については一定程度把握できるものと考えている。

一方、市民意識調査の中でも、育児・介護のための休暇を取得しやすい職場環境が整っているかどうかを把握する設問について検討したい。育児休業と介護休業の違いについても、いただいた意見を踏まえ、調査票の最終調整の中で検討する。

以上